



個別指導塾フォルテ

×



算数

3年生

第16節

□を使った計算

【例題1】

わからない数を□として、たし算の式を表そう！

本が16冊あります。新しく何個か買ったので、本は全部で28冊になりました。新しく買った本の数を□冊としてたし算の式を表し、□に当てはまる数を求めなさい。

解き方

(はじめにあった数) + (買った数) = (全部の数) という式になるので

$$16 + \square = 28$$

よって、ひき算 $28 - 16 = \square$ で求められる。

$$28 - 16 = 12$$

式 : $16 + \square = 28$ **12冊** ... (答)

答え

12冊

【例題2】

わからない数を□として、かけ算の式を表そう！

同じ数ずつ、8人の子どもにえんぴつを配ると、全部で48本配りました。1人分の数を□本としてかけ算の式を表し、□に当てはまる数を求めなさい。

解き方

(1人分の数) × (人数) = (全部の数) という式になるので

$$\square \times 8 = 48$$

よって、わり算 $48 \div 8 = \square$ で求められる。

$$48 \div 8 = 6$$

式 : $48 \div 8 = \square$ **6本** ... (答)

答え

6本

基本をマスターしよう！

ゼルビアには37人の選手がいます。以下の問いに答えなさい。

(1)何人かの選手がケガをしまい、練習に出られなくなりました。練習に出られる選手は33人です。

ケガをした選手の数を□人として、ひき算の式を表し、□に当てはまる数を求めなさい。

(2)ゼルビアに新しく何人かの選手が加入し、練習に出られる選手が増えました。

(1)でケガをしていた選手もケガを治したので練習に参加し、全部で40人の選手が練習をしました。

新しく加入した選手の数を□人として、たし算の式を表し、□に当てはまる数を求めなさい。

(1)

(2)

答え

(1)

(2)

【コラム】「□を使った計算」の正体とは！？

今回のテーマ「□を使った計算」は、実は「方程式(ほうていしき)」という考え方のスタートラインなんだ。

方程式とは、まだ分かっていない数を表す文字をふくむ式のこと。

代数学(だいすうがく)や幾何学(きかがく)、解析学(かいせきがく)など、いろんな学問に使われているよ。

今の方程式のとき方が作られたのは、およそ1700年前のころ。

ギリシャにいた数学者ディオファントスという人の発明らしい。

さらに中国では、それよりもっと古い1900年ほど前「九章算術」という数学書で説明されていたんだ。

「方程」の名前の由来は、この書物の八章に記述されていたことにあるんだよ。

「方程 = 格子状(こうしじょう)にならべること」や、「方 = 比、程 = 求」って意味らしい。

今日勉強したことが、約2000年もの間、人類が頭をひねり続けてきた歴史の入門なのだと思うと、
なんだかワクワクしてくるね！



練習問題にチャレンジ！

(3) 同じ長さずつ5人の選手が走り、全部で1500m走りました。
1人分の長さを□mとしてかけ算の式を表し、□に当てはまる数を求めなさい。



(3)

答え
(3)